

TOKAI ASAHI

カピバラにトングで餌を与えながら撮影する宮野友衣さん。いずれも愛知県豊橋市の豊橋総合動植物公園



動植物公園の魅力を発信

学生の「盛り上げ隊！」



135種、約800頭・羽がいる愛知県豊橋市の豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)を勝手連的に応援する学生グループが豊橋



ヤギの写真を撮影する学生たち

創造大学にある。経営学部

の三輪多恵子准教授(44)らの研究室で学ぶ学生たちの集まり「のんほいパーク盛り上げ隊！」だ。

2012年に設立。現在は8人の学生が所属し、市民の憩いの場を活気づかせようとPRしている。

グループの4年生、宮野友衣さん(24)と高見梨瑛さん(21)の2人が4月26日、三輪准教授とともに、のんほいパークを訪れた。この日から、カピバラに有料で餌やり体験ができるように

なったからだ。

2人はカピバラの好物のニンジンをつトンクに挟み、「かわいい」と言いながら、片手でカメラを持ち、餌やりの様子を写真撮影していた。

グループでは動物園の様子を撮影し、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどで発信し、同園の活性化に役をおうと取り組んでいる。

4月から登場して大人気のサーバルをはじめ、ミニブタ、アヒルなど、いち早

く撮影してホームページに載せている。動物の写真、名前、年齢、誕生日、生まれた場所などを一覧にしたデータベースもいち早く作った。同園のレストランのメニュー紹介や飼育員インタビューなども、アクセス数が多いという。

2人は3年生から盛り上げ隊に入隊した。宮野さんは「チラシやポスターをつくる技術を学ぼうと考えた」、高見さんは「ビジュアルデザインを学びたいと思った」と、当初は動物に関心はなかった。だが、今では、動物園に通っているうちに、動物が大好きになったという。

写真撮影だ。「簡単に撮れると思っていたが、実際は全く違った」。お目当ての動物が園舎の奥に入ったまま、なかなか出てこなかったり、立ち上がらずに寝そべったままだったりすることも多かった。

真夏や真冬のつらい時期に、いい写真を撮るまでには時間もねばったこともしばしばある。宮野さんは「写真1枚を撮るのがこんなに大変とは思わなかった」。

今は就職活動に忙しい2人だが、4月に年間パスを購入した。高見さんは「動物園がこんなに楽しいと知った。多くの人に動物園の魅力を伝えたい」と意気込んでいる。

最も苦労したのは動物の

(連勝一郎)